

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------------------|---|-------------------|--|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | 良くなる | コンビニ（経営者） | ・消費税増税に備えての買い置き需要が期待できる。 |
| | やや良くなる | 観光名所（職員） | ・予約状況が良い。 |
| | 変わらない | コンビニ（経営者） | ・景気の回復がまだ軌道に乗らない。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・4月は消費税増税の反動があると予測するが、それ以降は、商品の値ごろ感を出して訴求、キャンペーン等でリピーターを確保するなど購買を促さないと、来客数や単価の減少につながりかねない。その対策の詰めをしている状況である。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・3月には消費税増税前の駆け込み需要が予測され、一時的に売上は上ぶれるが、4～6月にはその反動があるとみられる。しかし、買い控えは長くは続かず県内景気は安定すると考える。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・ここ数か月続いているが、前月と同じく、景気は良くない。以前と比べて先買いの客もほとんど今は見当たらない状態である。先行きについては、今のところまだ読めていない。 |
| | | その他専門店〔楽器〕（経営者） | ・年度替わりの時期でもあり、また消費税増税前と世の中が騒がしい時期が続く。県内も雇用が増えて、景気が良いという報道もあるが、現実には厳しい状況である。本土からも客がよく来るが、リピーターなので新規に物品を購入することは無い。新たな新規顧客の開拓や商品提案など当面苦勞そう。 |
| | | その他専門店〔書籍〕（店長） | ・景気は悪いまま推移していきそうである。今年も2か月が過ぎたが、前年より悪くなっているように感じられる。 |
| | | 観光型ホテル（マーケティング担当） | ・現段階の予約状況から推測すると、2、3か月後の客室稼働率は今月と同様、前年同月実績に対してプラスを見込んでいる。 |
| | | ゴルフ場（経営者） | ・3月、4月、5月と、上がったたり下がったりで今のところあまり先が見えない、というのが実情である。 |
| | | 住宅販売会社（総務・企画分野） | ・3か月先のゴールデンウィークは例年住宅展示棟などへの来場が増える事が予想され、商談数が増加すると考える。それに加えて、住宅ローン減税などのメリットのある客の来場が見込めるので、注文住宅の受注としては、現在と変わらない状況と考える。 |
| | | 住宅販売会社（代表取締役） | ・手持ち工事は多いものの、現場職人の人員不足が顕著で、着工遅れや、着手した現場についても工事進捗が大幅に遅れているのが不安材料である。 |
| | やや悪くなる | 一般小売店〔菓子〕 | ・消費税増税による消費の低迷が予想される。特に弊社では、嗜好品を製造販売しているので、その影響が大きいとみられる。 |
| | | 百貨店（営業企画） | ・3月は消費税増税前の駆け込み需要が期待できるが、4、5月は増税後の落ち込みを予測している。1997年の増税時では、増税前の3月は15%アップ、4月は10%ダウンの経験があるが、本年は一部フロアの改装による動員効果を期待している。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・4月からの数か月間は、消費税増税の影響が出るとみられる。 |
| | | 家電量販店（総務担当） | ・消費税増税後に反動がある。 |
| | | 旅行代理店（マネージャー） | ・8%という消費税の感覚にまだ慣れていないため、財布のひもが緩むのは厳しいとみられる。 |
| | | 通信会社（店長） | ・消費税増税前の駆け込み需要が見込まれるため、4月以降の景気は悪くなると考えられる。 |
| | | 悪くなる | 商店街（代表者） |
| その他飲食〔居酒屋〕（経営者） | ・4月の消費税増税を前に客からは小遣いが減る分、外食する回数を減らす、より単価の安いところで我慢をするとの声がある。逆に、建設土木関係の常連からは仕事が増えすぎて忙しすぎ、休みが取れない状態で、疲れて飲みにも来られないという声もある。 | | |
| 企業 動向 関連 | 良くなる | － | － |
| | やや良くなる | 食料品製造業（総務） | ・3月までは消費税増税前の駆け込み需要による売上増が期待できる。 |
| | | 建設業（経営者） | ・具体的な引き合い、相談件数が増加している。 |

| | | | | |
|----------------------|--------|-----------------|--|---|
| (沖縄) | | 輸送業（本社事業本部） | ・新年度からの新規業務による取扱量の増加が見込まれる。消費税増税による取扱量の減少は可能性としては考えられるが、増税前に販売された商品の輸配送が増税後に行われることもあり、大きく景気を左右させる要因とはならない。 | |
| | 変わらない | 窯業・土石製品製造業（経営者） | ・公共工事は次年度に延期され、民間工事も変わらない見込みである。 | |
| | | 輸送業（代表者） | ・客先の受注残はかなり有り、施工業者も鉄筋や型枠工の職人不足が発生するほど、需要が活性化している。 | |
| | | 通信業（営業担当） | ・景気が良いといえる仕事の話は、現在のところ無い。 | |
| | | 広告代理店（営業担当） | ・県内消費が堅調に推移しているというマスコミ報道があるにもかかわらず、県内企業の多くは景気の先行きに不透明感を抱いていると感じている。そのため、販促投資額についても慎重な姿勢を取るのでは、と推察している。 | |
| | | 会計事務所（所長） | ・消費税増税と決算対策処理で一時的に落ち込むかもしれないが、景況回復の実感は徐々に浸透していくのではないかと考えている。 | |
| | やや悪くなる | — | — | |
| | 悪くなる | — | — | |
| 雇用 関連 (沖縄) | 良くなる | — | — | |
| | | やや良くなる | 求人情報誌製作会社（総務担当） | ・求人件数で前年同月比微増が続いている状況を見ると、今後も「やや良くなる」と判断される。この状況が、いつまで続くかは予想できない。 |
| | | | 学校〔専門学校〕（就職担当） | ・今年度で充足できなかった採用人数の求人が見込める。 |
| | 変わらない | | 学校〔大学〕（就職担当） | ・企業の動向を注視していかなければならないが、求人等が増加傾向にある。 |
| | | | 人材派遣会社（経営者） | ・派遣依頼件数に対して、契約終了もあり、数字の変化はあまり無い。また企業が4月以降の消費税増税による影響を見ながら対応しようとするのを感じる。 |
| | | | 求人情報誌製作会社（営業担当） | ・これから求人企業の採用も落ち着き始める。 |
| | やや悪くなる | 人材派遣会社（総務担当） | ・消費税増税の影響がどのくらいになるか分からない。 | |
| | 悪くなる | — | — | |